

## FAQ IN023 : "The requested port number is already in use" というメッセージがでる

FieldView を起動した際に以下のようなメッセージがでることがあります(Windows/Linux 共通)。

FieldView では起動時に クライアント-サーバ機能(FieldView Parallel 含む)を行いうため、その機能利用の有無に関わらず、通信ポートを確保しようとします。

\* ライセンス管理のクライアント-サーバ関係と別のポスト処理時の操作機能のひとつです。

(詳しくは FAQ の PL001 参照)



通常は 12345 番 port が使われますが、オプション引数に -port 54321 のように特定ポートを明示して起動することもできます。ポート確保を必要としない場合は -port none というオプション引数で立ち上げることもできます。

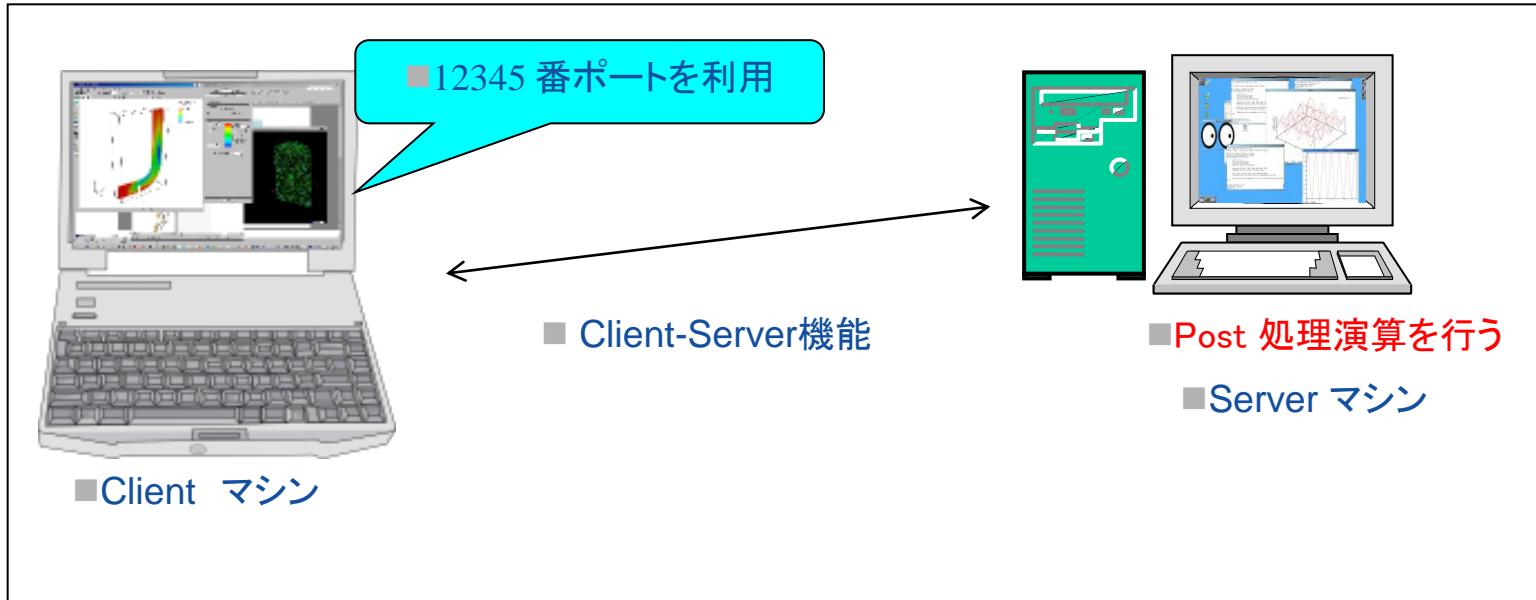
\* -port none の場合、クライアント-サーバ機能は使えません。

Windows の場合 通常 FieldView を立ち上げているショートカットメニューを

[右クリック] - [プロパティ] - [ショートカット] - [リンク先]

とたどることで、-port 指定の有無をご確認いただけますし、  
オプション引数追加で変更いただけます。

## FAQ IN023 : "The requested port number is already in use" というメッセージができる



### 《通信ポートの利用状態のチェック法》-----

Windows の場合

**netstat /b /a > portcheck.log [Enter]**

… portcheck.log ファイルに 各アプリケーションの利用ポートが出力されます

Linux の場合

**nmap localhost -p 12345 [Enter]**

…ポート状況が確認できます (\*次ページも参照)

## FAQ IN023 : "The requested port number is already in use" というメッセージができる

サンプルスクリプト : portcheck.sh

```
#!/bin/bash
host=$1
shift

while [ -n "$1" ]; do
    if nmap $host -p $1 | grep " open " >/dev/null ; then
        mopen="$mopen$1 "
    else
        mclose="$mclose$1 "
    fi
    shift
done

[ -n "$mopen" ] && echo "open ports at $host are following : $mopen"
[ -n "$mclose" ] && echo "close ports at $host are following : $mclose"
```

./portcheck localhost 27000

と打ち込むことで、開閉状態が表示できます。最終引数である  
ポート番号は 複数個、入力可能です。